

9	大競馬会(諸帳簿)	大正年間カ	北代田町自治会文書	P8905	483
---	-----------	-------	-----------	-------	-----

こちらも「北代田村大競馬会」に関する資料で、「接待係」の帳簿です（表紙、画像A）。

画像Bに「警察署 外1名 スシ 二個」とありますが、この前のページには「役場」（当時の勢多郡南橘村役場か）より酒6本・スシ6本、「細井学校」（現・細井小学校か）より酒3本・スシ5本などと、公共機関から酒とスシが寄贈されています。

別の文書（No. 484）では、才川町（現・前橋市若宮町あるいは日吉町）の谷田屋豆腐店が「豆腐50丁」の寄贈を申し出ています。

「接待方法」のページ（画像B）によると、下記の2種類の「優待券」がありました。

「甲」は四合瓶詰1本（酒）・スシ折壺ケ

「乙」はスシ折壺ケ

その上で、金50銭以上90銭未満は「乙」1枚、金1円以上1円90銭までは「甲」1枚・・・というように決められており、参加者は払った金額に応じて優待券を得て、その優待券と引き換えで酒やスシをもらったようです。

参加者の名前や金額等は、この帳簿や別の文書（No. 215）に記されていますが、「大競馬会来賓者名簿」（No. 216）によれば、近隣の多くの区長および青年会も招待されており、地域を挙げての競馬会でした。

「北代田村大競馬会」に関する資料は12点あり、現在の競馬とは内容がかなり違う行事であったことがうかがえますが、詳細は不明です。ただ、当館収蔵資料によると、大正2（1913）年に原町（現・東吾妻町）で「吾妻郡産牛馬組合主催大競馬会」（P0905 No.1799）、大正4年に渋川町（現・渋川市）で群馬高崎産牛馬組合主催の「競馬会」（P9311 No.867-23-59）、大正5年に美九里村（現・藤岡市）で「神田村大競馬会」（H8-29-1 近現 No.8/7-2）が開催されたことがわかります。

「北代田村大競馬会」も大正期、本県各地で競馬会が行われていた中での開催であったと思われます。



A

